

## 4月－10月委員会事業報告

2005年4月～10月19日までのオリンピック特別、競技力向上両委員会の事業報告を以下の通り行います。

2005年度はアテネオリンピックに於ける関・轟組の銅メダル獲得の効果で補助金支給団体からの選手強化費も増額されました。

特に、JOCの推薦でスポーツ振興基金の「重点強化種目」に認定され別枠の補助を受けられる事になりました。

オリンピック特別委員会は2005年、以下の重点方針を掲げ、今年度は国内強化活動の充実からスタートいたしました。

また、4.に記載の「次世代を担う選手の育成・強化」については競技力向上委員会と綿密な連携を保って推進をしています。

### 【重点目標】

1. 北京五輪でのメダル獲得と複数種目の入賞
2. アジア大会(2006年12月カタール)のオリンピッククラス全種目金メダルの獲得
3. 選手が強化活動をスムーズに行える環境の整備と体制造り
4. JOCゴールドプランに基づく次世代を狙う選手の育成・強化
5. 事業別予算・実績管理の徹底と効率的な資金計画・運用

### I. 実施済み事業

#### 1. 国内強化合宿

##### (1) 470級

- ・第1回ナショナルチーム強化合宿 4月26日～30日 福岡県小戸
- ・第2回 同 5月25日～29日 静岡県御前崎
- ・第3回 同 6月21日～26日 々

なお、第2回、第3回の合宿には470ジュニアワールドおよび第23回ユニバーシアード代表選手も参加いたしました。

##### (2) レーザー級、レーザーラジアル級

- ・第1回レーザー、ラジアルナショナルチーム合同強化合宿 6月7日～12日 逗子
- ・第2回 同 7月6日～10日 御前崎  
なお第1回合宿にはワールドユース代表選手およびユニバーシアード代表選手、第2回合宿にはユニバーシアード代表選手も参加いたしました。
- ・レーザー級コーチ招聘強化合宿 8月15日～21日 芦屋  
スエーデンからアテネオリンピック6位のカールスネソン氏を招聘、9月世界選手権参加選手の強化を行いました。
- ・第1回レーザーラジアル級強化合宿 10月13日～18日 御前崎

#### 2. 競技会開催

- ・JSAFジュニアオリンピックカップ 10月8日～10日 唐津

### 3. 海外派遣

(1) イングリング級世界選手権大会 7月15日-23日 オーストリア・モンデシー  
重・堀内・渡辺組(玄海セリング、飛鳥建設、富士ピュアー)

34艇中 20位

\*イングリグはナショナルチームではなく補助対象外ですが、ヨーロッパ内移動のための車のサポートを行いました。

(2) ISAFワールドユース選手権大会 7月14日-23日 韓国・釜山

・種目別順位

種目	参加選手	所属	参加艇数	順位	備考
420男子	斉藤・吉永	唐津西高校	32	2	ユース初のメダル獲得
同 女子	高橋(友)・津ヶ谷	三ヶ日高校	21	13	
レーザー	藤谷	札幌第一高校	36	31	
レーザーラジアル	高橋(香)	磐城桜ヶ丘高校	31	26	
ミストラル男子	高橋(良)	福岡西陵高校	17	15	自費参加

・国別順位 46カ国中 17位

(3) 470ジュニアワールド選手権大会 7月25日-8月2日 ロシア・サンクトペテルブルグ

種目	参加選手	所属	参加艇数	順位	備考
470 男子	水口・加藤	近畿大学	67	52	シルバー18位
同 女子	小西・富田	甲南大学	67	61	シルバー女子27位

(4) 第23回ユニバーシアード競技大会 8月11日-21日 トルコ・イズミール

・個別種目順位

種目	参加選手	所属	参加艇数	順位	備考
470男子	前田・小出	福岡大・中央大	17	4	入賞
々	宮田・吉田	法政大	17	8	入賞
470女子	高橋・鎌田	法政大	9	2	銀メダル
々	杉田・桐谷	関西学院大	9	9	
レーザー	安田	鹿屋体育大	25	19	
々	平田	法政大	25	24	
レーザーラジアル	疋田	近畿大	18	13	
々	田村	法政大	18	14	
ミストラル男子	富澤	関東学院大	24	8	入賞
同 女子	野津	鹿屋体育大院卒	12	9	

・国別順位 28カ国中 4位

順位	国名	得点
1	フランス	10
2	ポーランド	13
3	ドイツ	21
4	日本	22
5	イタリー	23
6	クロアチア	26
7	トルコ	26
8	スイス	29

#### 【代表選手選考】

数多くの選手の中から代表選手を選ぶべく5月に以下の選考レースを実施、14名の選手を決定しました。

- ・ 470級・レーザー級  
関東・関西で開催  
\*470級についてはジュニアワールド代表も選考
- ・レーザーラジアル級  
レーザー級全日本レディース選手権大会で選考
- ・ミストラル級  
IMCO ワールドウィーク in 柏崎で選考

・国別メダル獲得数

**MEDAL STANDINGS**

(08.21.2005 16:35:00)

Country	Gold	Silver	Bronze	Total
1. RUS-Russia	26	16	23	65
2. CHN-People's Rep of China	21	16	12	49
3. JPN-Japan	18	18	20	56
4. UKR-Ukraine	18	16	18	52
5. USA-United States of America	17	12	14	43
6. POL-Poland	12	8	8	28
7. KOR-Republic of Korea	11	14	9	34
8. TUR-Turkey	10	11	6	27
9. TPE-Chinese Taipei	6	2	4	12
10. ITA-Italy	5	6	13	24

(5) 2005年470級世界選手権大会 8月19日-28日 米国・サンフランシスコ  
 <男子> 64艇参加

選手名	所属	順位	備考
関・柳川	関東自動車工業	23	ゴールドフリート
松永・上野	柳ヶ崎セーリングクラブ	40	シルバーフリート
白石・谷川	ノースセール・浜松鉄工	42	々
谷口・吉見	第一経済大学	45	々
吉峰・黒川	高松市役所・明治大	51	々
新居・森田	第一経済大学	55	々

<女子> 34艇参加

選手名	所属	順位	備考
田畑・栗田	第一経済大学	14	フリート分けなし
井嶋・加藤	東亜建設工業	28	々
鈴木・池本	江ノ島ヨットクラブ・海洋大	32	々

(6) 2005年49er級世界選手権大会 8月25日-9月6日 ロシア・モスクワ  
 轟・高橋 (関東自動車工業)  
 66艇中 41位 シルバーフリート

(7) 2005年レーザー級世界選手権大会 9月18日-28日 ブラジル・フォルタレザ  
 136艇参加

選手名	所属	順位	備考
飯島 洋一	飯島木型	42	ゴールドフリート
永井 久規	豊田合成	101	シルバーフリート
沖西 祥宏	SPN	104	シルバーフリート

### 3. ナショナルチームランキングシステムの公示

2005年7月1日にJSAFで初めての試みであるナショナルチームランキングシステムを制定し公示を行いました。

これは今年度の世界選手権大会などの成績により艇種別などのランキングを示すものです。試行段階でありより良い制度に改めながら北京オリンピック直前の世界選手権大会まで継続して行きます。

### 4. 中国調査

9月5日-10日にかけて2006年470級世界選手権大会会場のリーシャオおよびオリンピック会場のチンタオの調査活動を行いました。

詳細報告は別紙

## 5. RS-X 級コーチ派遣

9月28日よりスペイン・カジスで開催のRS-X カディスレース2005および同クラス国際会議に出席し、情報収集活動を行うためにWS 級コーチ前地 達郎氏を派遣しました。  
詳細報告は別紙

## II. 10月以降の実施予定事業

### 1. 国内強化事業

#### (1) 強化合宿

- ・第4回470級ナショナルチーム強化合宿 11月中旬 和歌山
- ・第1回RS-X級ナショナルチーム強化合宿 12月8日-12日 蒲郡又は和歌山
- ・ユースナショナルチーム強化合宿 3月中旬 浜名湖（東日本）、唐津（西日本）

#### (2) 競技会開催

- ・JSAFオリンピックウィーク 10月20日-23日 江ノ島
- \* WS級を除き、セールメルボルン派遣(1月)の補助対象選手を選考します
  
- ・2006年ナショナルチーム選考レースおよびナショナルチーム認定  
470級、レーザー級 12月6日-12日 相模湾（場所未定）  
WS RS-X級、レーザーラジアル級 3月上旬 場所未定
- \* NT選手選考以外に06年アジア大会（ドーハー）、ISAFワールド（5月オーストラリア）、オリンピックテ  
ストイベント代表選考を兼ねますがアジア大会については種目決定後に発表します。

#### (3) コーチ会議開催

10月19日、江ノ島女性センターで開催  
コーチだけでなく選手の参加も可とし、青島調査の報告、今後の活動計画、オリンピック  
最終選考についての意見交換 等を行う予定です。

#### (4) TSCチェック

2月実施予定  
国立スポーツ科学センターにおいてナショナルチーム選手を対象に第2回目のTSCチェック  
を行います。

#### (5) その他

昨年に引き続き、470級世界上位の選手を招聘して日産カップ（2月中旬未定）およびアビ  
ームカップ（3月中旬）が開催される予定で、強化活動の一環としてナショナルチーム選手が  
参加します。

### 3. 海外派遣

- ・レーザーラジアル級世界選手権大会 12月 2日- 9日 ブラジル・フォルタレザ
- ・セールメルボルン 1月 5日-15日 オーストラリア・メルボルン
- ・アジア選手権大会 1月12日-21日 カタール・ドーハー

以上